

警察官を騙る特殊詐欺事件の発生について

1 認知日

令和8年7月27日(月)

2 発生日

令和8年7月21日(火)から同月24日(金)までの間

3 被害品

暗号資産 1,000万円相当

4 被害者

和歌山県橋本市内に居住する50代の男性

5 状況

令和8年7月21日、被害者方の固定電話に郵便局員を騙る男から電話があり、被害者が電話に出ると、「あなたの名義で荷物が届いていますが、中身が高額の現金です。」「マイナンバーカードの不正使用が考えられます。池袋警察署に電話を繋がます。」と言われ、池袋警察署の肥田を名乗る男に電話の相手が代わりました。

被害者は肥田から、「SNSのビデオ通話で取調べをするので、SNSアカウントを登録してください。」と言われ、肥田が指定するSNSアカウントを登録したところ、すぐに被害者にSNSの機能を利用したビデオ通話がかかってきました。

ビデオ通話では、白色のワイシャツを着た男が画面に映り、被害者は肥田を本物の刑事だと信じてしまいました。

それから同月24日までの間、取調べと称してビデオ通話が行われ、肥田は被害者の個人情報聞き出し、近日中に被害者が退職金を得ることを知ると、「個人的に付き合いがある保険会社の人が暗号資産の投資をすればお金を稼ぐことができると言っている。」などと言って、被害者に暗号資産への投資を勧めました。

被害者はこれに応じて、肥田の説明のままに暗号資産アカウントを作成し、被害者名義の口座から振込送金して暗号資産を購入した上、7月24日に相手が指示する暗号資産アカウントへ2回に分けて暗号資産を送信しました。

その後、肥田から指示される通りにSNSを操作したところ、肥田とのメッセージが消えてしまい、また、肥田にメッセージを送信しても返信がないことから不審に思い、警察に通報したことで本件詐欺被害が判明したものです。

6 その他

詐欺電話の遮断には「国際電話利用休止申込み」や「警察庁推奨アプリ」の利用が大変効果的です。

詳しくは「#みんなとめ」を検索、または最寄りの警察署にお問い合わせください。

万が一、知らない番号から電話を受けた場合はすぐに通話を切り、相談無料の

『ちょっと確認電話』 0120-508(これは)-878(わなや)
に確認してください。